

❖団体名	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
❖ASC2021 実施日	2022 年 12 月 16 日

❖セフルチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	18	18	0
事業実施基準	11	11	0
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
合計	44	44	0

❖アカウントビリティへの考え方

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、1986 年の設立以来、国内外で、行政や地域社会と連携し、子どもたちのために、子どもたちとともに、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現される世界を目指し活動しています。

私たちは、ビジョン、ミッションに紐づく、「大切にすること」の一つとしてアカウントビリティを掲げています。私たちにとってのアカウントビリティとは「人材・資金・情報など、あらゆるリソースを効率的に活用し、確実な成果を上げ、支援者や活動を共にするパートナー、そして誰よりも子どもたちに対して自らの行動を説明することに、一人ひとりが責任をもつこと」であると考えます。

❖アカウントビリティ向上の取組み紹介

- 1) 効果効率性の高い事業のさらなる推進
- 2) 包摂性が高く柔軟な組織運営
- 3) 安心・安全な事業実施と組織運営の徹底

❖上記取組みの実施状況

上記取組みのために、2022-24 年度は下記に注力しております。

- 専門的な知見やエビデンスに基づく事業・政策提言活動を強化するための調査や研究の推進
- 子どもたちを取り巻く環境の恒常的、持続可能な変革をもたらすための戦略的なパートナーシップの推進・深化
- 安心・成長・変革を実現する組織風土の醸成に向けて、職員の能力強化など組織力の向上や感染症対策やライフワークバランスに配慮した職場環境整備および働き方の施策の実施
- 内部統制(リスク管理)体制強化のためリスクマネジメントポリシーの制定、関連規程の整備、収支の実績の迅速かつ正確な共有と予実の精緻な管理
- 全ての組織の運営において、子どもの権利の視点が担保され、子どもの最善の利益を最優先に意思決定を行うために、「子どものセーフガーディング」の取組みの強化